



Newsletter

No. 46

2012年2月10日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108

http://www.labornetjp.org

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8588 FAX 03-3530-8578

経産省前テント「反原発・年越しテレビ」が大成功！

～レイバーフェスタの蓄積が活きる～

レイバーフェスタがすべての始まりだった。フェスタで「脱原発紅白歌合戦なんてやったらおもしろいね」という参加者の方のコメントでアイデアが浮かんでしまい、年末年始に主流メディアの裏番をインターネットテレビでぶつけよう！と企画したのが「反原発・年越し Occupy @経産省前テント 大生放送」。重要なのは「こんなんじゃ、よい年迎えられない99%祭り」というところ。99%の私たちの声を届けさせ・届けることを目的として有志で実行委員会をつくり、番組を放送した。

「重大ニューストップ10」では、貧困、労働、TPP、原発などの分野での一年を振り返り、「ゆく年くる年」では、都内や地方都市の野宿現場から炊き出しなどの状況について、電話で報告してもらった。一番盛り上がったのは、「反原発紅白歌合戦」。それぞれ独自の思いを言葉にしてメロディーにした、その訴えは胸に痛く響いた。

新年のマラソンも書き初めも、盛り下がると予想していたが、大間違いだった。囲碁大会には、テントに立ち寄った18歳の高校生が参加した。原発災害からは是非について考えていたという。

これまでレイバーフェスタでお披露目した企画が活かされたものになり、レイバーネットがモットーとしている「文化のない闘いなんてありえない」が、まさに実現したと言っていいたかもしれない。欲を言えば、500人、1000人と集まってほしかったが、極寒の夜を耐えてがんばった甲斐あり、手薄になる年末年始にテントが華やいだことがうれしかった。(松元ちえ)

*なお「年越しテレビ」はクチコミで大きく拡がり、大晦日の生中継ユニーク視聴数(実際アクセスした数)は、1574となった。



反原発年越しテレビ：12月31日・経済産業省前テント



レイバーネット日本総会 2012

3月3日(土) 13時半～17時(開場13時)

第一部 総会(13時半～15時)

活動報告その他

第二部 記念講演・安周永さん

+ディスカッション(15時15分～17時)

*第二部のみ、レイバーネットTV3チャンネルでユースト中継します。

場所=スペースたんぽぽ(東京・水道橋7分)

千代田区三崎町2-6-2 ダイナミックビル4F

参加費 会員無料(一般500円)

安周永さん記念講演

「ソウル新市長パク・ウォンスン時代の韓国労働運動・社会運動の動向」

韓国では2011年10月、市民運動出身のパク・ウォンスン市長が誕生しました。パク市長は、韓国の代表的な市民運動団体である「参与連帯」の創設に関与していました。市長になってわずかな期間ですが、福祉を重視し、貧困・失業をなくすための政策を矢継ぎ早に打ち出しています。世界の新自由主義にまっこうから反対するソウル市長の出現。そして今年4月におこなわれる韓国国会議員選挙、12月の韓国大統領選挙。大きく動く韓国の政治・労働・社会運動状況を考察することで、閉塞日本の状況を打ち破るきっかけになればと思います。記念講演は、若手政治学者の安周永さん(アンジュヨンさん・京大助教・日韓の労働運動と政治の比較研究が専門)にお願いしました。大いにディスカッションしましょう。

レイバーフェスタ 2011 写真報告

—東京—

12月4日、10回目になる「レイバーフェスタ」が東京・新大久保アールズアートコートで開催された。丸一日のイベントに210名が参加した。韓国のドキュメンタリー「希望のバス」の感動的映像をスタートに、朗読・構成舞台・音楽・3分ビデオ・樋口健二さん報告・原発御用大賞・川柳・制服向上委員会と続いた盛り沢山の内容だった。28本上映された3分ビデオでは、被災地・被ばく地の生



の声をじかに伝える作品が、感動を呼んだ。中でも3分ビデオの一番人気は、東電が原発の安全性を謳った旧ホームページ（現在は削除されている）を題材にした「絶対安全」（亜北斎作）。その痛烈な皮肉に会場は大笑いに包まれた。またフィナーレの「制服向上委員会」のライブ「ダッ！ダッ！ダッ！脱・原発」にしばれた観客も多かった。（M）



大好評だった3分ビデオ「絶対安全」

—大阪—



東北の地震、津波さらに福島原発事故という大災害に見舞われた日本に住む私たちに、今求められているものは何か、今回上映された映像は、いずれもその問いに答えようとするものだという気がした。第8回目の「レイバーフェスタ OSAKA」は、会場を第1回会場のクレオ中央に戻し、昨年の不振を挽回すべく、初心に戻っての再スタートとなった。今年は関西の3分ビデオが内容深く、参加者も補助イスを追加する勢いで、昨年を上回り、およそ100名の参加となった。昨年の不振で崖っぷちまで来た感があった大阪のフェスタだが、参加者からよかったという声が多く寄せられ、今後協力したいとの若い人の声もあり、新たな出発を予感させるフェスタとなった。（小山紳人）

「レイバーネットTV」まもなく2年 もう一回り広げるためにあなたの知恵と力を

2010年5月17日にスタートした「レイバーネットTV」は、まもなく2年を迎えます。制作スタッフは、新しい「労働者のメディア」の出現に興奮し、試行錯誤を繰り返しながら、楽しく格闘してきました。2011年3月11日以降は、月2回というハイペースで原発特集を配信し、マスコミではできない「民衆メディア」としての役割をささやかながら果たしてきたと思います。上杉隆さんが出演した昨年7月の第16号放送は、ダントツに視聴数が上がりましたが、平均的には、生中継の視聴数（ユニーク視聴）が100～300、アーカイブ視聴が1000～2000といったところです（下段表参照）。まだまだ少ないです。なんとかユニーク視聴で500、アーカイブで3000くらいの視聴規模に広げていきたいと思っています。それが社会的なチカラにもつながるでしょう。何より大事なものは、番組内容です。マンネリ・仲間うちの的にならず、毎回、時代に斬り込むものをつくっていききたいです。それには、多くの人の知恵と力が必要です。そしてお金です。この2年間は視聴者のカンパや「レイバーナウ基金」もあり、財政的に支えられましたが、2013年からはメドが立っていません。財政基盤の確立についても議論を進めたいと思っています。レイバーネットが生んだ新しいメディア「レイバーネットTV」を大きく飛躍させるために、ぜひ皆様のご協力を改めて呼びかけます。（松原明）

●放送スケジュール 以下は2月16日以降の放送スケジュールで、基本的に木曜日夜（午後8時～9時半）です。企画持ち込み大歓迎です。まずはスタジオ見学にお越しください。2/16「大阪橋下問題」、3/11「原発震災特集」、3/22、4/12、4/26、5/10、5/24。放送スタジオは、新宿三丁目「バンブー」です。

●レイバーネットTV（2/16）「大阪橋下」特集 「組合つぶし」の大波に負けないぞ！

昨年11月の大阪W選では、大阪維新の会に所属する橋下徹が大阪市長に、松井一郎が大阪府知事になり大勝利をおさめた。当選確実のニュースを聞き、背筋が凍る思いだった。1933年のナチスの政権奪取が頭をよぎった。維新の会は教育基本条例案と職員基本条例案という二つの条例案で、教員と自治体職員をクビ切りで脅し、弱肉強食の新自由主義路線を突っ走ることを予告していた。

選挙後、橋下市長は矢継ぎ早に労働組合攻撃を繰り広げた。まず、市職労が前市長の選挙応援をしたことを口実に労働組合の政治活動を禁止し、組合事務所を庁舎外に追い出すと宣言。また労組活動の実態調査をすすめ、組合適正化条例なるものを2月議会に提案すると決めた。橋下は「選挙で選ばれたものだけが民意を代表する。職員には市政に関して発言する資格はない」と発言。いま現場は、処分覚悟でなければ市政批判もできないところまで追い詰められている。まず抵抗勢力である労組をつぶして、自分たちのやりたいことをやるというのは、新自由主義者の常道だ。中曽根の国労攻撃はその典型だった。次には民営化や福祉削減の大波が襲うだろう。

今後も橋下は、労働組合を既得権益団体として、権利剥奪にまい進するに違いない。維新の会の国政進出が現実味を増しているいま、これは単に大阪の問題ではなく、全国の労働組合にかけられた攻撃でもある。こうした事態を受けて、2月16日（木）のレイバーネットTVはジャーナリストの山口正紀さんと大阪なかまユニオン大阪支部長の矢野幸一さんら2名をゲストに、大阪の労組つぶし攻撃を特集する。ぜひ、注目していただきたい。（佐々木有美）

<視聴データ> 2月6日現在

号数	日付	主な内容	ユニーク+アーカイブ	合計視聴数	原発特集	福島県教組郡山支部	
1	2010/05/17	記念すべき〇号放送	190 + 1105	1295	137 + 761	898	
2	2010/07/20	教えておじさん！	不明	不明	原発特集・樋口健二	129 + 1504	1633
3	2010/08/17	国労闘争団・中野勇人	128 + 518	646	原発特集・原子炉を作った労働者	500 + 1424	1924
4	2010/09/21	フィリピントヨタ労組	128 + 473	601	原発特集・メディア（上杉隆）	2424 + 4701	7125
5	2010/10/19	光輪モータース分会	83 + 189	272	保守化する若者たち・安田浩一	339 + 1192	1531
6	2010/11/16	ファッション業界ユニオン	90 + 1219	1309	非正規・派遣問題（河添誠）	173 + 615	788
7	2011/01/20	JAL キャビンクルーユニオン	136 + 2265	2401	教育特番・橋下はん（藤井啓之）	203 + 2025	2228
8	2011/02/17	キャノン非正規ユニオン	146 + 871	1017	JAL 解雇争議・山口宏弥 内田妙子	90 + 1818	1908
9	2011/02/24	教育特番・東京の学校なう	98 + 920	1018	TPP ってなに？・大野和興	109 + 2274	2383
10	2011/03/17	原発特集・たんぼぼ舎	542 + 3448	3990	福島の花たちのたたかい	188 + 2257	2445
11	2011/04/21	原発特集・若者デモ	188 + 812	1000	原発下請け労働者・中村光男	65 + 1369	1434
12	2011/05/05	原発特集・山崎久隆、石川源嗣	265 + 833	1098	被ばく労働で死にたくない！	171 + 1569	1740
13	2011/05/19				どうなってるのハケン問題	84 + 443	527
14	2011/06/02				川柳 de レポリューション（高鶴）	65 + 234	299
15	2011/06/16						
16	2011/07/07						
17	2011/09/01						
18	2011/09/15						
19	2011/09/23						
20	2011/10/06						
21	2011/10/20						
22	2011/11/03						
23	2011/11/17						
24	2011/12/15						
25	2012/01/19						
26	2012/02/02						

インフォメーション

●ドキュメンタリー映画「フツの仕事をしたい」がDVDブックに

レイバーフェスタ・レイバー映画祭がきっかけになって生まれたドキュメンタリー映画「フツの仕事をしたい」(土屋トカチ監督/映像グループ・ローポジション制作)が、DVDブックとして旬報社からこのほど発売された。最長で月552時間!という常識はずれの過酷な労働、ユニオンをつかって立ち上がった姿を描いたこの作品は、2008年ポレポレ東中野で公開されると、大きな反響を巻き起こした。その後、国内17箇所の映画館、130回を超える自主上映会、13カ国の国際映画祭正式出品を経て、今回のDVD化になった。DVDブックには本編のほか特典映像43分と、ガイドブックとして後藤道夫・小谷野毅・竹信三恵子・木下昌明、各氏のコメントが付いている。貧困・非正規・雇用問題が深刻化する中、いま見てほしい映画だ。定価3360円。

●ビデオプレスが新作「がん 容子の選択」を発表

ビデオプレスが2年がかりで取材を続けていたドキュメンタリー映画「がん 容子の選択」(95分)が完成した。主人公の乳がん患者・渡辺容子さん(56歳)は、「患者よがんと闘うな」の著者でもある慶応病院近藤誠医師の患者で、現在標準とされている「手術・抗ガン剤」に疑問をもち、無駄な治療を拒否し最低限の緩和治療を受けている。「余命一年」と言われた渡辺さんを追いながら、映画は彼女の医療の選択・生き方を通して、だれもが身近な「がん・死」の問題を問いかけている。12月の試写会で大きな反響があり、4月23日(月)午後6時半から、東京「座・高円寺」ホールで完成上映会が開かれる。→ビデオプレス TEL03-3530-8588

●イラク帰還米兵シリーズが完結「I V A W 明日へのあゆみ」

マブイシネコープ木村修さんの「イラク帰還兵による反戦運動を記録した映画シリーズ(全6編)」が完結した。最後の完結作品は「I V A W 明日へのあゆみ」(60分)で、これから劇場公開・自主上映が行われる。木村さんは、2006年に米ワシントンで開かれた反戦集会でI V A W(反戦イラク帰還兵の会)を知り、個人として戦争責任を自覚し、謝罪のためイラクを再訪したヒューズさんを追いつけた。完結編では、清掃員や教師の団体交渉権を制限する米ウィスコンシン州の法案をめぐる、労働者や学生らと連携するI V A Wの姿も描いている。→マブイ・シネコープ(06-6786-6485)

●「労働者文学」70号を発行、3.11大震災・原発事故を特集

はたらくものの文芸作品を掲載している季刊雑誌「労働者文学」(発行=労働者文学会)の第70号が発行された。特集は「3.11大震災・同時多発原発事故とその後」で、小島力「一時帰宅まで」、増田勇「東京電力の事故責任」、神田貞三「フツのな

湯本さんの新作「わたしたちは忘れない 福島 避難区域の教師たち」

2011年3月11日の震災後、福島県教育委員会は、5月に早々と2012年度の教職員の新規採用をしないことを発表。福島県の教職員は、現行の教員数で混乱した教育現場の立て直しをせざるをえなくなった。さらに原発の影響で休校中の学校の教職員には「兼務発令」を出し、現任校に在籍しながら児童・生徒が転校した先で勤務するという体制をとられた。この結果、ちりちりになった自分の子どもたちへの関わりは思うようにできなくなり、避難先から兼務校への遠距離通勤を強いられる教職員も続出した。

震災後、被災地の学校現場に真に求められていたことは、一体何だったのだろうか?

・完成2012年3月中旬(予定)33分・16:9 DVD-VIDEO

・製作・ナレーター 湯本雅典

協力 福島県教職員組合 福島県教職員組合 双葉支部 福島県教職員組合相馬支部他

・2000円(税込)

・販売収益の一部を、福島県教職員組合双葉支部、相馬支部にカンパします。

DVDのご予約は、yumo@estate.ocn.ne.jpまで、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレスを明記の上お願いします。お申し込みは電話でも結構です。090-6039-6748(湯本雅典)



生活」、小沢信男・清水克二「甦れ鶴彬」など、40弱の文章が掲載されている。定価800円。申込みは、03-3818-6671 労働者文学会。

★会費納入・カンパのお願い

レイバーネットの財政の基本は会費収入です。活動の拡大に伴い財政も逼迫しています。ぜひ会費の前納、カンパ(レイバーネットTV)にご協力ください。同封した振替用紙が便利です。会費納入状況は封筒のお名前前のところに「会費納入状況」があります。なにかありましたらご遠慮なくお知らせください → TEL03-3530-8588

レイバーネット日本の会員になりませんか

現会員数 500名

ウェブアクセス 1日 2000

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本

郵送宛先 〒173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108

レイバーネット日本事務局

入会申込用アドレス apply@labornet.jp.org

電話 03-3530-8588 ファクス 03-3530-8578

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合で個人で全国にアピールする絶好の場所です。

年会費 3,000円